

ウィークリー・ブレッド・オブ・ライフ  
(2024年1月8日(月)～14日(日))

岸和田聖書教会  
牧師 栗原純人

「ブレッド・オブ・ライフ」とは「いのちのパン」(ヨハネ 6:48)。「わたしはいのちのパンです」と言われるイエス・キリストさまに聞きましょう。今日一日の力です。以下の手順を参考に聖書を読みましょう。

1. 静まります。「しかし私は 義のうちに御顔を仰ぎ見 目覚めるとき 御姿に満ち足りるでしょう。」(詩篇 17:15)
2. 声に出してその日の聖書日課を読みます。
3. 気づいたこと、わからないことなどを箇条書きし、その後『みことばの光』、このブレッド・オブ・ライフの文章を読みます。わかったことがあったら、さらに書いてみましょう。
4. もう一度、聖書日課を読みます。違う響きがあるでしょうか？
5. 祈りましょう。実際に声に出して。そして祈りの中心部分を書いてみましょう。一日の終わりに、今朝の聖書を思い起こし、みことばがどのように生きたか、思い巡らしましょう。

今週は、マタイの福音書のいわゆる「山上の説教」を読んでいきます。あなたはイエスさまに引き込まれていくことでしょう。

1月8日(月)

今日の聖書日課：マタイ 5:11～20

このように、あなたがたの光を人々の前に輝かせなさい。人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようになるためです。 マタイ 5:16

私たちは光そのものではありません。私たちは光である神を表わすのです。月が太陽の光を反射させるように。それが「あなたがたの光を人々の前に輝かせなさい」の意味なのです。だから、それに続く「良い行い」も、まずイエスご自身が私たちにしてくださった、表してくださった良い行いが先にあり、それを見た、聞いた、知った私たちが自分も良い行いをする、ということなのです。だから、最終的にあがめられるのは人間ではない。私、私たちではない。人々は「あなたがたの父をあがめるようになる」のです。

1月9日(火)

今日の聖書日課：マタイ 5:21～32

ですから、祭壇の上にささげ物を献げようとしているときに、兄弟が自分を恨んでいることを思い出したなら、ささげ物はそこに、祭壇の前に置き、行って、まずあなたの兄弟と仲直りをしなさい。それから戻って、そのささげ物を献げなさい。 マタイ 5:23～24

礼拝をしているときに、自分の人間関係が思い浮かぶことがあるでしょう。神さまのみことばを聞くときに、そう思うのは当然です。礼拝は礼拝、生活は生活。と切り離すことはできないのです。ささげ物を置いて、悪い関係にある兄弟(隣人)と仲直りすること。それこそが、ささげ物をする者にふさわしい心なのです。それこそが、あなたにみことばを語られる神さまの御思い(みおもい)なのです。

1月10日（水）

今日の聖書日課：マタイ5：33～42

あなたがたの言うことばは、「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」としなさい。それ以上のことは悪い者から出ているのです。 マタイ5：37

「はい」、「いいえ」とは返事です。神に語られたことに対する応答です。この箇所で行われている「誓う」ということは、自分が神であるかのようにふるまうことになりかねません。だからイエスはそれを禁じられたのです。大切なことは、神さまの語りかけに対して私たちが応答することなのです。「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」と。

12月11日（木）

今日の聖書日課：マタイ5：43～48

ですから、あなたがたの天の父が完全であるように、完全でありなさい。 マタイ5：48

無理なことを神さまはおっしゃるなあ。そう思います。そんな人、この地上にいるのか？います。たったひとりだけ。そう、イエス・キリストただひとり。このお方、神の御子であるイエスさまだけが天の父が完全であるように、完全であられた方。冒頭のみことばは、イエス抜きには聞くことはできない、受けとめることはできないのです。山上の説教は、イエスが弟子たちに、またイエスについてきた人たちに語られたことば。イエス抜きで「良いことだから」と、それをしようとしても無理があるのです。

1月12日（金）

今日の聖書日課：マタイ6：1～8

人に見せるために人前で善行をしないように気をつけなさい。そうでないと、天におられるあなたがたの父から報いを受けられません。 マタイ6：1

みせびらかすように人前で善行をしてはならない。聖書でなくても、このようなことは言われています。しかしイエスのことばの特徴は次のところにあります。「そうでないと、天におられるあなたがたの父から報いを受けられません」。天の父、神の前で善行をするのです。その善行とは、神が自分にしてくださったことに対する応答。神への感謝がこもっている善行なのです。それをすればするほど、神さまがいかに関心してくださったか、を私たちは知ることができるのです。それこそが、「父からの報い」なのです。

1月13日（土）

今日の聖書日課：マタイ6：9～18

ですから、彼らと同じようにしてはいけません。あなたがたの父は、あなたがたが求める前から、あなたがたに必要なものを知っておられるのです。 マタイ6：8

今日の聖書日課には有名な「主の祈り」が含まれています。そうです。主イエスが弟子たちに「こう祈りなさい」（9）と言って教えられた祈り。弟子たちが求める前から、彼らに必要なものが何であるか、よく知っておられる神。その神の御子イエスが教えてくださった祈り。この祈りを祈る時に、私たちは、本当に自分に必要なものは何であるのか？求めるべきことは何であるかを知ることができるのです。

1月14日（日） 本日の礼拝説教箇所：ダニエル3：1～30「守られた、守られなかった」  
リンウッド日本人ファミリー教会（米国、シアトル）の金田豪牧師が語ってくださいます。